

# 2014 北海道最賃情報

No. 5

2014. 8. 6(水)

連合北海道最賃対策委員会

## 雨の中、最賃の大幅引き上げを求め労働局前で集会

8月5日(火)12:20から、北海道労働局前において、「8.5北海道地域最賃の大幅引き上げを求める労働局前集会」を開催し、降りしきる雨の中、約100名の仲間が参集した。

連合北海道最賃対策委員長の紺野副会長より、「地域別最低賃金は、北海道の低賃金構造を改善し、働く貧困層＝ワーキングプアの解消のためのセーフティネットの一つとして最も重要なものである。

北海道の最低賃金734円では、年収140万程度にしかならない上に、物価上昇が追い打ちをかけている。働いて生活していける最低賃金の大幅引き上げを訴えるものである」と挨拶した。



紺野最賃対策委員長

最低賃金審議会の労働者委員でもある永田組織労働局長からは、「北海道の物価上昇率は全国平均よりも高い。経営上の苦しさばかりを訴え続ける経営者が多い中、なんととしてでも最低賃金の大幅引き上げを目指して、今後の審議会に臨む。」との現状報告があった。



雨の中駆けつけた多くの仲間

パート労働者を代表して、UAゼンセンコープさっぽろ労組の飯田はるみさんより、「パートタイマーを多く抱える流通業では、パートタイマーが、入社間もない正社員に仕事を教えることも珍しくない。今の最低賃金では生活保護費よりも低く、このことから働くよりも生活保護を受給した方がましではないか・・・という思いを抱く人がいるのも事実である。働いて生活できる最低賃金、全国平均800円、誰でも時給1000円の早期実現を目指してほしい。」と訴えた。



コープさっぽろ労組 飯田さん

労働局に向かって連合北海道青年委員会の瀧口委員長の力強いシュプレヒコールを繰り返した後、大幅引き上げに向け参加者全体で団結ガンバローを三唱し、集会を終えた。



瀧口委員長のシュプレヒコール

今後は、断続的に最低賃金審議会の専門部会を開催し、早期発効を目指して精力的に審議を重ねていくことになる。

8月5日現在で、最賃引き上げに関して意見書採択は47自治体、FAX 要請行動に参加したのは昨年を大幅に上回る544団体であった。

最低賃金についてのご意見を連合北海道最賃対策委員会までお知らせ下さい。

TEL011-210-0050

FAX011-272-2255

メール: organization@rengo-hokkaido.gr.jp